

医師:田村穂高 /薬剤師:千阪智美 /MSW:川越由紀 /看護師:柏田早織



🔔 宮崎県の紹介





ブーゲンビリア 空港の名前になってい ます



hinata

ひいく



| W. W. 2025 | Ch. |
|--|---------------------|
| The Committee of the Co | |
| w. | (a) (b) (c) (c) (c) |
| | |
| | |
| | 100 |
| -01 | |



総務省統計局 https://www.stat.go.jp/index.html







プロ野球のキャンプ地



病院名 都道府県名

宮崎大学医学部附属病院

宮崎県

| 都道府県の情報 | | | | | |
|-----------|---------------|--------|--|--|--|
| 都道府県内の総人口 | 1032663人 | R6.7.1 | | | |
| がん死亡者数(%) | 3666人 (22.8%) | R4 | | | |
| 高齡化率 | 33.7% | R5 | | | |

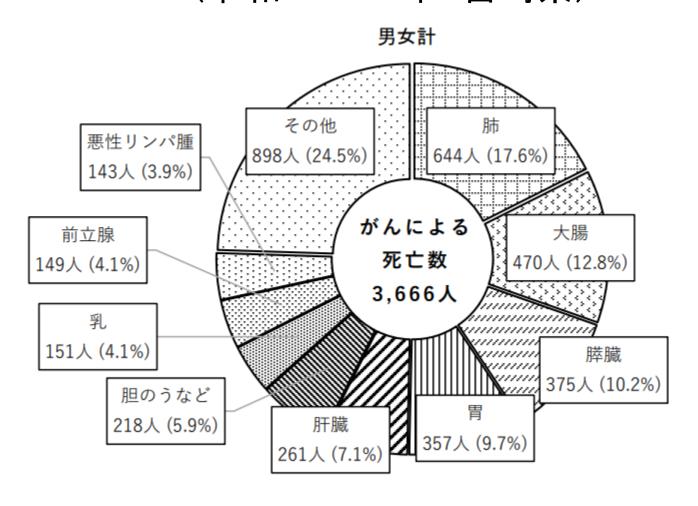
病院名 都道府県名

| 都道府県内のがん患者の状況 | | | | | | |
|---------------|-------|-------|------|-------|--|--|
| がん種 | 罹患者数 | 罹患率 | 死亡者数 | 死亡率 | | |
| 肺がん | 1102人 | 13% | 644人 | 17.6% | | |
| 大腸がん | 1276人 | 15.1% | 470人 | 12.8% | | |
| 胃がん | 909人 | 10.7% | 357人 | 9.7% | | |
| 乳がん | 865人 | 10.2% | 151人 | 4.1% | | |
| 肝臓がん | 364人 | 4.3% | 261人 | 7.1% | | |
| 膵臓がん | 357人 | 4.2% | 375人 | 10.2% | | |
| 子宮がん | 273人 | 3.2% | 86人 | 2.3% | | |

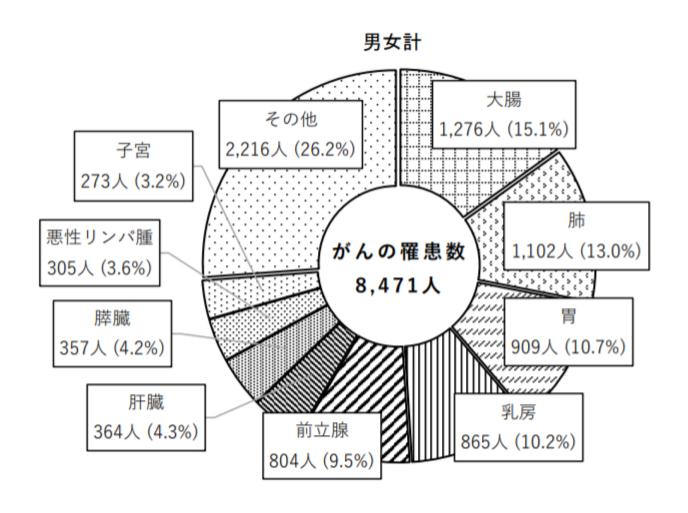
罹患:2019年(R1) 死亡:2022年(R3)

宮崎県

がんの部位別死亡数・割合 (令和4 2022年 宮崎県)



がんの部位別罹患数・割合(上皮内がんを除く) (令和元 2019年 宮崎県)





病院名 都道府県名 宮崎大学医学部附属病院

宮崎県

がん診療連携拠点病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院 1施設 ・宮崎大学医学部附属病院 604床

地域がん診療連携拠点病院 2施設

- 県立宮崎病院 502床

・独立行政法人 国立病院機構 都城医療センター 305床



病院名 宮崎大学医学部附属病院 都道府県名 宮崎県

がん診療病院の情報

宮崎県がん診療指定病院

県立日南病院 281床

県立延岡病院 410床

都道府県がん診療連携拠点病院 宮崎大学医学部附属病院 604床



高千穂町 延岡市 延岡西白杵医療 諸塚村 美郷町 日向市 日向入郷医療圏

西米良村 木城町 川南町

国富町

宮崎市

西都市 西都児湯医療圏 高鍋町

3新富町

宮崎東諸県医療圏

地域がん診療連携拠点病院 都城医療センター 305床

都城北諸県医療圏

西諸医療圏

えびの市

都城市

小林市



三股町,日南市

日南串間医療圏

串間市

宮崎県がん診療指定病院 県立延岡病院 410床



地域がん診療連携拠点病院 県立宮崎病院 502床



宮崎県がん診療指定病院 県立日南病院 281床



都道府県におけるがん医療の特性

- ・全国で14番目に面積が広いが交通の便が悪い。
- 二次保健医療圏によって病院数に偏りがある。
- •75 歳未満年齢調整死亡率が全国より高い状況にある。 (47都道府県中4番目に高い) 特に、肝がんや子宮がん、白血病を見ると、全国と比較 して高い状況にある。

宮崎県

都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

【現状】

- ・拠点病院間の連携不足により、お互いのニーズがわかりにくい。
- ・都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院が地理的に偏っており、地域格差があるため、拠点病院がない地域の患者さんは遠方の病院での治療を余儀なくされている。

【課題】

- がん診療連携拠点病院の連携を強化する
- ・がん診療連携拠点病院以外の病院や医療機関(訪問看護ステーションや調剤薬局なども含む)との連携を強化する
- •人材育成

研修の概要

【タイトル】

ここから始める、化学療法チーム研修! (がん診療連携拠点病院研修会、宮崎県がん診療連携協議会合同開催)

【目的】

病院間の連携強化による化学療法の均てん化

【対象者・人数】

拠点病院の医師、薬剤師、看護師、MSW 最低 5施設 各約4人 合計 約20人

【目標】

一般目標(GIO) 顔の見える関係作り

到達目標(SBO)

- 各施設の化学療法の実施状況と課題を共有し解決策を見出すことができる
- 情報共有ツールを知ることができる



プログラム

| 開始 | 終了 | 時間 | 研修方法 | 内容 |
|-------|-------|----|------|---|
| 12:30 | 13:00 | 30 | | 受付 |
| 13:00 | 13:05 | 5 | | 開会挨拶、事務連絡 |
| 13:05 | 13:15 | 10 | 講義1 | 「宮崎県のがん登録の現状」 講師:がん登録部門会長 鈴木 斎王 先生 |
| 13:15 | 13:30 | 15 | 講義2 | 「宮崎県がん対策推進計画、がん対策の現状」 講師:宮崎県健康増進課 内田 真理菜 主事 |
| 13:30 | 13:45 | 15 | 講義3 | 「宮崎県のがん・生殖医療ネットワーク構造と現状」 講師: 宮崎大学産婦人科教授 桂木 真司 先生 |
| 13:45 | 14:00 | 15 | 講義4 | 「宮崎県のがんゲノム医療の現状」 がん診療部専門部会長 細川 歩 先生 |
| 14:00 | 14:15 | 15 | | 休憩/移動 |
| 14:15 | 14:45 | 30 | 発表 | 自施設紹介 |
| 14:45 | 14:55 | 10 | | 休憩/移動 |
| 14:55 | 15:25 | 30 | GW | 職種別ディスカッション |
| 15:25 | 15:35 | 10 | | 休憩/移動 |
| 15:35 | 16:05 | 30 | GW | 施設別ディスカッション |
| 16:05 | 16:30 | 25 | 発表 | まとめ(施設別に発表) アンケート |

自施設発表の際の質問項目

- <事前アンケートの内容>
- 病床数/患者数(月)/専属スタッフ人数
- 化学療法業務の負担
- 治療方針や有害事象対応で困難を感じることがあるか
- 病院間の患者紹介でストレスを感じたことがあるか
- 拠点病院以外の地域の病院との連携について
- 困りごとや都道府県がん診療連携拠点病院に求めることなど



研修の評価

【実施評価】

- ・満足度(満足できたか、次も来たいかなど)テーマや時間、日程など
- •参加率

【結果評価】

- 連携の強化ができたかどうかを参加者にアンケートを実施する
- ・コミュニケーションツールの稼働状況(何回やり取りしたか)

【企画評価】

- ファシリテーターからの客観的な評価
- •研修会が予定通り実施できたか(時間経過や目的など)
- ・アンケートの集計結果の解析